

情報提供日：令和8年8月14日

国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の令和8年度無事開催を報告 舞男を務めた2人が龍ヶ崎市長を表敬訪問(8/18)

令和8年7月26日(日)に開催された国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」で「舞男」を務めた2人が、令和8年8月18日(火)午後4時に龍ヶ崎市長 萩原 勇を表敬訪問します。

訪問には、撞舞当日、会場に約8,500人がつめかける中、妙技を披露した舞男を務めて19年目となる大石 浩司(おおいし こうじ)さんと、3年目の小菅 真幸(こすげ まさゆき)さんが訪れます。

大石さんと小菅さんには、本番の演技に加え、本番までの練習など、舞台裏の様子なども報告していただく予定となっています。

時節柄ご多忙かと存じますが、ぜひ取材を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

■撞舞の概要

約450年、地域の力により受け継がれ、龍ヶ崎市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財。

高さ14メートルの龍を象徴する柱「撞柱(つくばしら)」に、暗緑色の「たっつけ袴」に雨蛙の面をかぶった「舞男」と呼ばれる演者が登り、柱の頂上で弓を射ったり逆立ちしたり、さまざまな妙技を披露する伝統芸能です。



舞男 プロフィール

大石 浩司さん

龍ヶ崎市在住／43歳(昭和58年1月22日生)

【略歴】

平成15年から後継者として練習に参加。平成20年から本番で舞男を務め19年目。(令和2年、3年はコロナで中止、令和6年はケガのため不参加)



小菅 真幸さん

つくばみらい市在住／41歳(昭和59年11月10日生)

【略歴】

大石浩司さんや演技指導をしている方からの勧めもあり、自ら志願して、平成29年から後継者として練習に参加。令和6年から本番で舞男を務め3年目。



■日 時	令和8年8月18日(火)午後4時から午後4時30分(予定)
■場 所	龍ヶ崎市役所本庁舎3階庁議室(所在地:龍ヶ崎市3710番地)
■出席者 (予定)	舞男(大石 浩司 様、小菅 真幸 様) 龍ヶ崎市撞舞保存会 会長 瀬尾 雄三 様 外2人 龍ヶ崎鳶職組合 組合長 小菅 庄一 様 外4人 龍ヶ崎市長 萩原 勇

担当課	龍ヶ崎市 市民経済部 商工観光課 商工観光グループ 担当者:瀧田・山田(たきた・やまだ) 連絡先:0297-60-1536(直通)
-----	--